

【答弁者】	【発言順位】	【質問年月日】	【質問議員】
環境部長	No.2	2年10月2日	並木 正年 議員

## 【質問事項】

5 コウノトリが飛来する豊かな環境を育もう

## 【質問要旨】

- ・ コウノトリを含めた多様な生物が生息・生育できる豊かな生態系の確保に、国や市町村、保全団体等とどのように取り組んできたのか。
- ・ コウノトリの飼育、放鳥に向けた取組に対して、どのような「必要な支援」を行っていくのか。
- ・ 「彩の国みどりの基金」については、生物多様性に限定して運用すべきと考えるが、環境部長に伺う。

## 【答弁要旨】

御質問5「コウノトリが飛来する豊かな環境を育もう」についてお答えを申し上げます。

まず、コウノトリを含めた多様な生物が生息・生育できる豊かな生態系の確保に、国や市町村、保全団体等とどのように取り組んできたのか、についてでございます。

豊かな生態系の確保には、緑の保全・創出や希少な動植物の保護が極めて重要です。

緑の保全・創出につきましては、国や市町村と協力しながら貴重な緑地の公有地化を進めるほか、ボランティア団体や自治会などの活動を支援し、環境整備に努めております。

また、希少な動植物につきましては、ムサシトミヨやサクラソウなどの保護増殖や保全活動を、団体や学校、市町村の協力をいただき県内各地で行っております。

生態系の頂点に位置するコウノトリは、エサが多種多様であることや行動範囲が広大であることから、県を越えた広域的な連携が必要です。

国や関係する県と市町で構成する協議会で、生息環境の保全整備について専門家も交えての検討を行うなど、コウノトリを含めた多様な生物が生息・生育できる生態系の確保に努めてまいります。

次に、コウノトリの飼育、放鳥に向けた取組への「必要な支援」についてでございます。

鴻巣市でのコウノトリ飼育に向けた取組は、生物多様性保全の観点からも意義深いものであり、県といたしましては、鴻巣市と連携協力してまいりたいと考えております。

これまでも、県こども動物自然公園において、コウノトリを長年にわたり飼育し、ノウハウを蓄積している県公園緑地協会が、餌の与え方や衛生管理に関する助言を行っております。

また、県水産研究所では餌となるフナの増殖の指導を行うなど、専門的な技術を提供してまいります。

飼育を開始した後も放鳥までには長い時間と多くの課題解決が必要です。

議員お話しの点を踏まえ、まずは他県での支援事例も参考にしながら、ニーズを把握した上で財政的支援を含め、どのような支援が必要か、幅広く検討してまいります。

次に、彩の国みどりの基金は、生物多様性に限定して運用すべき、についてでございます。

県は、彩の国みどりの基金条例に基づき、「森林の整備」、「身近な緑の保全・創出」、「県民運動の展開」の3つの柱で事業を展開しております。

これらの事業により豊かな植生が回復し、希少種が保全されるなど、多様な動植物から成る生態系が形成され、生物多様性の保全につながっております。

彩の国みどりの基金につきましては、その活用が、生物多様性保全につながるという点も重視し、事業を実施してまいります。